

「万膳小学校の万膳太鼓踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	霧島市立万膳小学校
2. 学年・人数	4年生 3人, 5年生 2人, 6年生 2人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年 7月～9月 ※総合的な学習の時間 計6時間練習 万膳小学校体育館及び運動場 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日(日) 万膳小学校・万膳校区合同運動会 万膳小学校運動場
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 万膳太鼓踊り（まんぜんたいこおどり） (2) 由来 島津義弘の凱旋祝いと義弘に従軍し、その戦いで戦没した兵士の供養のため、踊り始めたともいわれている。昭和15・16年頃まで、毎年盆や干ばつの折、あるいは神社祭典や大きな行事の時に必ず踊りを披露していたが、太平洋戦争以来中断していた。しかし、保存会員や校区民の尽力により昭和23年に復活した。これまで、以下の行事等で披露している。 【「平成元年校舎落成祝賀会」、「平成4年万膳道路開通祝賀会」、「平成8年県PTA活動研究委嘱公開（牧園大会）」】 (3) 構成等 本来は、鐘打ち4人・太鼓打ち16人・ホタ振り2人、計22人で隊形を組み、太鼓や鐘を打ちながら踊る。現在は踊り手も少なくなり、装備も簡素化された。後継者育成や正規の人数で踊れるように踊り手の募集に努力している。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携協力しながら棒踊りを継承していくために、「万膳太鼓踊り」を教育課程に位置付け、「万膳棒踊り保存会」の方を講師として招聘し、教えていただいている。練習の成果を万膳小学校・万膳校区合同運動会で発表する場を設定し、今後も継続して万膳太鼓踊りを伝承していける体制を整えた。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  体育館での練習風景（7月） 万膳小学校・万膳校区合同運動会で披露
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・ 太鼓踊りの動きは難しいけれど、楽しくできた。 ・ 衣装は重かったけれど、最後まで頑張ることができた。 【保存会】 ・ 太鼓踊りの伝統を、受け継いでいってほしい。